

# 明智光秀ゆかりの地

# 明智荘

明智光秀の出自については諸説がありますが、通説では土岐氏の流れをくむ「土岐明智氏」の一族であるといわれています。

土岐明智氏発祥の地とされる可見郡の明智荘は、現在の可見市北東部から御嵩町西部にかけて存在した荘園です。

明智光秀の生まれた時代に土岐明智氏が明智荘一円に勢力を誇っていたという確実な史料は見つかっていませんが、『美濃国諸旧記』では初代の土岐頼兼より光秀に至るまで、代々可見郡の明智荘に土岐明智氏が住んだとしています。



顔戸城址

顔戸城は、室町時代初期、土岐氏の守護代斎藤氏の拠所になるとされ、城といっても居館と考えられています。城は東西約180m、南北約150mの規模で全体が台形状を呈しており、外周は、敵の侵入を防ぐ深い堀と高い土塁がめぐらされています。平地部の城體としては、規模が格段に大きく、土塁や堀は良好に残っている大変貴重な平城であり、明智荘唯一ともいわれています。城主とされる斎藤妙禰は、土岐氏の守護代であった兄の斎藤利永が亡くなる前後から政界へと乗り出し、応仁の乱(1467)では、妙禰の動向は、中央(京都)をもゆるがすと言われるほどの存在であったと伝えられています。

あけちのしょう



## 可児才蔵コース

御嵩駅周辺エリア

所要時間

約1時間10分

滞在時間は含みません

ウォーキングコース全長 ▶ 5.3km



11分(0.8km)

1 慈溪寺

11分(0.8km)

2 大寺山願興寺

1分(0.1km)

3 御嶽宿わいわい館

2分(0.2km)

4 中山道みたけ館

1分(0.1km)

5 御嶽宿本陣跡

1分(0.1km)

6 商家竹屋

25分(1.7km)

7 御嵩城址公園

17分(1.5km)



1 大智山慈溪寺  
可児郡御嵩町 2635-1

中山道みたけ館  
可児郡御嵩町 1399-1

御嶽宿本陣跡  
可児郡御嵩町 1405

2 大寺山願興寺  
可児郡御嵩町 1377-1

3 御嶽宿わいわい館  
可児郡御嵩町 1554-1

商家竹屋  
可児郡御嵩町 1406

7 御嵩城址公園  
可児郡御嵩町 2192-531